

みどり市議会だより原稿用紙(一般質問用) No.1

見出																
人、人	移	ま	0	に	年	減	の	ク	ユ	大	年	5	1	向	で	
東	、し	将	の	ど	月	と	全	人	タ	々	は	。9	2	豊	務	
1	大	て	來	減	リ	未	は	体	。タ	フ	笠	合	人	万	2	
9	向	、少	市	の	?	で	豊	人	万	豊	豊	、	1	万	推	
0	々	豊	工	と	全	合	て	は	豊	で	9	2	10	合	ク	
5	1	豊	0	な	体	併	い	は	合	5	万	年	計	3	4	
人	万	2	3	?	で	1	る	5	増	9	9	後	5	0	6	
で	ク	万	5	7	は	年	。	ナ	加	0	9	の	万	人	6	
合	6	8	年	い	3	半	今	2	レ	人	8	平	3	人	3	
計	6	0	の	る	8	八	和	人	た	1	6	成	3	東	月	
4	8	5	推	。	3	面	4	9	も	ク	東	人	28	1	3	大時

(12文字×20行原稿)

みどり市議会だより原稿用紙(一般質問用) No.2

限	帳	行	市	が	天	う	大	レ	い	こ	市	市	管	大	口	が	向	去	瓦
が	の	の	長	去	氣	は	澤	7	で	と	民	長	、	澤	減	可	に	て	フ
降	交	設		る	予	中		い	と	な	サ		行		少	で	あ	い	ル
ソ	付	置	中	の	報	核	高	く	上	く	1	人	政	今	ヒ	に	る	る	ユ
ア	ト	ふ	、	核	で	や	市	崎	、	げ	市	ビ	口	に	後	い	見	ヒ	。タ
く	ど	身	市	は	コ	に	市		ら	氏	ス	減	フ	ハ	つ	通	見	各	人
る	い	本	に	。	口	な		れ	の	を	少	い	み	ト	レ	込	町	ヒ	と
。	ろ	障	な	ナ	水	前		る	満	低	が	て	ど	状	で	ま	ヒ	い	う
ま	い	が	水		感	は	稿		足	下	進	の	リ	況	超	れ	モ	う	
た	ろ	い	ば		染	独	市	う	度	さ	む	考	市	。	え	て	減	予	
例	な	者	保		者	自	ア	努	せ	中	え	の			た	い	少	測	
え	権	手	建		數	の	よ	カ	少	る	で	は	運		人	る	傾	が	

みどり市議会だより原稿用紙(一般質問用) No.3

大澤	いわく、本市に合意協定でさして円を兆現え、緒ば
後期	てえむなでしるた森林をも製造合の太田一社ば太田
高齢者	いら方がき、CO ₂ 林排CO ₂ 資源本製品せ本市立ば太田人
へ	かれらうひとみ新を収めると額富人口37み
の	ばほ減をいほのくるくみ造額兆み重に万と
支	な地少れが展地こどすに3るエな人リ
援	ら域社広補開域と排りもは千のがるやが
	なや会域いそがが本市上フ発で3超一

みどり市議会だより原稿用紙(一般質問用) No.4

重	市	之	な	に	20	は	と	く	福	保	敬
要	長	ア	ど	フ	万	17	支	、	社	健	老
は	い	検	ハ	円	万	払	100	祝	福	祝	い
分	高	る	討	ア	以	5	う	オ	シ	祉	シ
野	鈴	。	レ	も	上	千	。	ま	金	部	金
び	者	ア	福	も	円	二	で	は	長	の	
ど	の	い	社	多	で	備	て	県		上	
恩	支	き	革	ハ	み	自	39	内	み	集	
?	援	ト	業	。	ど	り	万	で	ど	せ	
ア	は	レ	の	賊	リ	太	5	一	リ	は	
い	大	ビ	予	政	市	田	千	番	市	。	
る	変	考	算	面	は	市	円	多	の		

(12文字×12行原稿)